UNITE FOR GOOD
HIGASHI OSAKA MIDORI R.C
CLUB WEEKLY
国際ロータリー第2660地区
東大阪みどりロータリークラブ
創　　立　1998年9月24日
会　　長　北井孝彦
幹　　事　田村嘉宏
会報委員長　阪田克英

２０２５－８－２１（第 1113 回）

今週のプログラム

≪８月２１日㈭ 例会　KKR ホテル大阪２階「琴」≫

◎ 卓　　話　　「カルガリー国際大会の報告」

山村忠弘君

♪本日の歌　　「我等の生業」

次 回 の 予 定

≪９月４日㈭ 例会　KKR ホテル大阪２階「琴」≫

◎ 卓　　話　　「未　　定」

山村忠弘君

前 回 の 出 席 率

≪８月７日（木）例会　≫

会員数１４名（内出席免除者数１名）

本日の出席者数８名（内出席免除者数０名）

本日の出席率　６１．５％

＊7/31㈭　炉辺談話　出席者７名

幹 事 報 告

幹事　田村嘉宏君

◎本日例会後、８月度定例理事会を行います。

◎次週(8/28)はＧＭを予定しています。

◎次の例会(9/4)後、９月度定例理事会を行います。

会 長 の 時 間（8/7）

会長　北井孝彦君

皆さん、こんばんは。

先日、村上会員が理事長をなさっております村上学園の東大阪大学柏原高校が甲子園夏の大会で見事難関の大阪大会を突破し、１４年ぶり２度目の甲子園出場を果たされました。村上会員は炎天下の中、スタンドで応援をなさいましたが、私たちもテレビに釘付けになっておられたかと思います。本当におめでとうございます。爽やかな選手の皆さんの活躍に忘れかけていた「感動」を思い起こさせていただいたと思います。本当におめでとうございました。

さて、高校野球について AI に聞いてみました。

すると、「今年の高校野球、熱いですね！2025 年は「第 107 回全国高等学校野球選手権大会」が開催されていて、地方大会ではすでに代表校が続々と決定しています。

たとえば：

・済美高校（愛媛）が延長タイブレークで松山商業を破り、７年ぶりに甲子園出場

・日大三高（東京）は東海大菅生に快勝し、２年ぶり 20 回目の出場

・仙台育英（宮城）も２年ぶりに甲子園へ

・東大阪大柏原（大阪）も 14 年ぶりに出場を決め、地元では話題になっています」

例会場:KKRホテル大阪　Tel:06-6941-1122　例会日時:毎週木曜日　午後6時30分
事務所:〒631-0001　奈良市北登美ヶ丘3-11-30
Tel:0742-55-4869　Fax:0742-51-1067　E-mail　midorirc1126@gmail.com

と AI も東大阪大学柏原高校を取り上げてくれています。
また、「東大阪大学柏原高等学校を運営する学校法人村上学園の理事長は、建学の精神「萬物感謝・質実勤労・自他敬愛」を大切にしながら、教育を通じて“人間をつくる”ことを目指す人物です。」と出てきます。因みに余談ですが私の娘も村上学園の建学の精神から名付けられた敬愛高校にお世話になっておりました。
是非本大会でもご活躍を祈念し、皆様と応援して参りたいと思います。

ニコニコ箱の報告

例会担当委員会

(8/7) 合計 20,500 円　　今年度累計 72,500 円

本日のお祝い

会員交流委員会

◎奥様のお誕生日　　8 月 24 日　　谷口祥子様

卓 話 抄 録 (8/7)

「徒然草について」

田村嘉宏君

徒然草についてなぜ話そうかと思ったのかというと身近な人が家を修理していて 2m ぐらいの高さまで下りてきてそこから落ちて亡くなった話。あの高名の木登りという短編があるんですね。でそれは油断するなよという話なんですけど、No4 を見てください。

安心に潜む危険
高名の木登りっていう話なんです。要約しますと、植木職人の親方が職人さんに高いところにいる時は何も言わないんですね。ところが、下へ降りてきた時に、ケガするぞという風に声をかけた。ということですね。蹴鞠も難しいところは、うまく当てた後で気を抜くと必ず蹴り外し、落としてしまうということです。我々もそうなんですが日常的にちょっと気を抜いたら、あの怪我したり事故を起こしたりするわけです。それは、会社の経営にしても、あるいは健康にしても、あるいはお金にしても油断して放漫的なことをやってしまうと、すぐに失敗につながっていくわけですね。ですから、なんかの拍子にこの高名の木登りっていう話を思い出すんですね。

（現代語訳）
高名の木登りといわれた男が人に指図して高い木に登らせ、枝を切らせたときのことである。非常に危険だと思われた間、何も言わず、軒の高さになり、足を外すんじゃないぞ、注意しておりろよ、といった。そこでこれぐらいの高さなら、飛び降りられるだろうに、どうしてそんなことを言うのかと聞いてみた。枝が折れそうであれば本人自身が怖がっているので注意しません。失敗というのは決まって、なんでもないところで失敗するものなんですよと答えた。地位も教養もない男だが、言うことは聖人の教えに一致している。
蹴鞠も難しい鞠をうまくあてたのち、気を抜くと必ずけり外し落としてしまうということだ。日常的にちょっと気を抜いたら、怪我したり事故を起こしたりするわけです。
放漫的なことをやってしまうと、すぐに失敗につながっていくわけですね。私は時々高名の木登りという話を思い出すんですね。

もう一つの理由はスティーブジョブズ、アップルの創業者としてご存知だと思うんですが徒然草と同じ話をしているんですね。他にもいろんな徒然草の話をしたみたいなんですね。彼はだから徒然草を読んでたんですよ、そのときの話からどういう話かというと。一瞬一瞬を大切にして生きようということなんです。

（現代語訳）
短い時間を積み重ねて大切に使う人はいないものだ。これは短い時間を惜しむ必要はないという意味をよく知っている人なのか、それとも全然知らない愚か者なのか。知ってる人はともかく、知らないで時間を無駄にしている怠け者のために忠告

しておきたい。一銭はわずかな金だが、これがたまると貧乏人を金持ちにする。同様に、一瞬のような時間は、その流れをはっきり意識するのは難しいが、だからといってその一瞬をほっといては人間の一生はたちまち最期を迎える。したがって、その道を極めようとするものは一日とか一月という長い時間を惜しむような態度ではだめだ。今意識しているこの一瞬が無駄に過ぎてしまうことを惜しまなくてはいけない。例えば、人がやって来て、あなたは明日必ず死ぬと教えてくれた場合、今日が終わるまでの間、何を頼りにして、どんなことをするのだろうか。明日死ぬと言われたあの日、今日という日と全く変わりはないのだ。わたしたちは一生の間に食事、排便、睡眠、会話、歩行など、生きて行くためにはやむを得ず多くの時間を使っている。その残りの時間は幾らもない。そんな状況にありながら、意味がないことをし、意味の無いことをしゃべり、意味のないことを考えて時間を消費してしまう。それればかりか、そんなふうにして一日を費やし、一月を過ごし、一年を送り、ついには一生を終わってしまう。なんとも愚かなことである。そんなに短時間であろうとも、真理を追究する志のない人間は死んだも同然なのだ。それならばなんのために時間を惜しむのかといえば、つまらないことに心を使わず、世間との付き合いを経て、真理を追究する志を遂げようというわけなのである。
これはスタンフォード大学の卒業の祝辞で、あのスティーブジョブズが、送った言葉なんですね。当時としてはジャパンアズナンバーワンといわれ非常に日本が注目された時代です。こういう関係で読んだのかもしれないです。
それから兼好法師は例えば比叡山とか、高野山で修行する僧ではなく、在俗っていうんですか、家の中におって宗教とか、仏道修行するような人なんです。徒然草は女性の話から女性に言い寄られて困った、そんな話とかあります。ユーモアがあるんですね。一方で仏教的な、そのあきらめというか無常感みたいなものを持ってる人なんです。しかしその一方で、土地の売買なんかしたらめちゃくちゃ厳しいですよ。現実的には厳しい人でした。その時の土地売買の証文なども残っています。
この時代っていうのは政治権力が確立してませんから死体などの処理ができません。災害や疫病があると家から一歩出ると、そこらじゅう人が死んでるわけです。死体がそこら中にほっておかれている。
そして、その死体を犬が食っているような図があるんですけれども、鎌倉時代の京都では政治権力というのはなかった。だからそういう死体の処理とかもほったらかしにしていて、家から一歩外に出ると疫病が流行って、人が犬に食べられているような状況です。だから非常に仏教的な無常観というものを強く感じていた。我々は今、本当にきれいな世界で生きてますけれども、政治権力もないような時代に生きた人っていうのは本当に大変なことだったんですね。それで、同様に鎌倉時代の方丈記がありますけど、これは災害文学と言われ、この時代はもっとひどい凄まじい災害や争いが起こり、たくさんの人が死んでいる。方丈記で人間の無常観ゆく川の流れは絶えずして、しかももとの水にはあらずと続くんですけど、仏教的な無常観を感じやすかった。吉田兼好もその流れで百年ぐらい後なんですけれども、やっぱり京都で、この時代、この地域というのは非常に大変な時代だった。そういう環境的にも無常観を感じやすい時代であり、地域であったと思います。だからこそこのような随筆が生まれてきたわけです。どうもありがとうございました。

＊第一回金輪会＊

８月８日㈮、ＩＭ第４組会長幹事会が、シェラトン都ホテル大阪にて行われ、北井会長、田村幹事が出席されました。ご苦労様でした。

UNITE FOR GOOD

2025-26年度 東大阪みどりRCテーマ

三つの幸せ

幸せには三つあると言われます。一つ目の幸せは、してもらう幸せ。
二つ目は、自分でできる幸せ。三つ目は、して差しあげる幸せです。
三つの幸せの中でも、最も大きな幸せが、三つ目のして差し上げる幸せです。
ロータリーの「よいことをしよう」こそ、三つ目の幸せです。